

北方地区活性化計画 ＜概要版＞

平成26年
(2014)
3月

1 計画策定の趣旨

- 北方地区では若年層を中心に人口が流出するなど、過疎化・高齢化が進行し、町内会活動の担い手不足、農林業の低迷など、地区の活力が低下しています。
- 特に、本地区では町内会によって過疎化・高齢化の状況が異なっており、町内会相互の連携によって、地区全体の維持・活性化を図ることが求められています。
- こうした状況を打開するには、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。
- このため、北方地区町内会長連絡協議会では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、「北方地区活性化計画」の策定に取り組みました。

北方地区の位置



2 計画策定の取り組み

- 北方地区町内会長連絡協議会では、町内会、各種団体の代表者などとともに「北方地区地域計画策定委員会」を設置し、「北方地区活性化計画」の策定に取り組みました。
- 計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区住民（16歳以上）及び小学生（4～6年生）・中学生へのアンケート調査を実施するとともに、全住民を対象としたワークショップ（意見交換会）を開催しました。

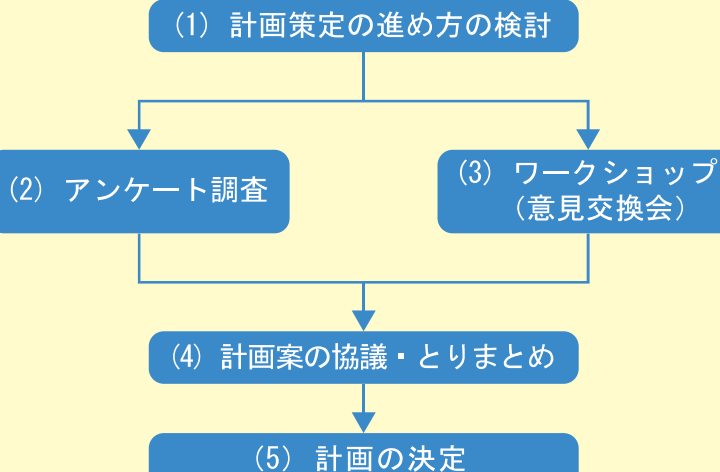


計画策定体制

北方地区地域計画
策定委員会
・町内会役員
・各種団体の
代表者
など

三原市の支援

計画策定の流れ



③ 北方地区活性化計画

地区の将来像

強い絆の中で、誰もが安心していきいき暮らせる北方地区

地区づくりの基本方針

- 基本目標1 各世代がいきいきと暮らせる地区
- 基本目標2 地区の魅力を磨き、輝かせる地区
- 基本目標3 多彩な人材と強い絆で支えられた地区

地区づくりの基本計画

1 高齢者が安全安心に暮らせる地区づくり

<高齢者の見守りの推進>

- 高齢者訪問体制の充実、情報通信器機を活用した安否確認

<高齢者の生活支援>

- 高齢者が利用しやすい交通手段の確保
- 外出が困難な高齢者のための買い物支援
- 災害時の支援体制の充実、軽作業の支援

<高齢者の健康づくり・生きがい活動の支援>

- 高齢者サロン活動の充実
- 健康づくり・生きがい活動の推進、保健・福祉・介護制度の周知



2 定住・UJIターンが活発な地区づくり

<若者定住の促進>

- 婚活の推進
- 農林業などの地場産業の振興を通じた若者の就業の場の確保

<子育て世代への支援>

- 子どもの見守りと保護者に対する子育て支援
- 地区に愛着を持つ子どもの育成

<UJIターンの促進>

- 空き家の紹介体制の確立
- UJIターン者に対する生活相談体制の確立

<地区出身者との交流の推進>

- 地区出身者に対する地区情報（地区行事、観光・交流情報など）の発信
- 地区内でふるさと同窓会開催の働きかけ



3 農林業などの地場産業が盛んな地区づくり

<農地の保全と農業の振興>

- 有害鳥獣対策
- 農業生産法人の設立，就農希望者の受入などによる担い手の確保
- 農地管理への非農家の参加システムの検討
- 特産品の生産・加工・販売

<林地の保全と林業の振興>

- 里山管理についての意識啓発と林業の振興

<その他の産業の振興>

- 遊休農地を活用した太陽光発電の検討



4 美しい環境のもとで多彩な交流が繰り広げられる地区づくり

<環境美化活動の推進>

- 河川，里山などの清掃
- エコ・リサイクル活動への取り組みの強化

<観光・交流資源の整備>

- 竜王山登山道，梨和川，横見廃寺，梨羽城跡一帯などの整備，活用

<多様な体験の場づくり>

- 歴史文化体験，自然・農林業体験コースづくり
- 高齢者グラウンド・ゴルフ+地区体験コースづくり

<おもてなし体制の整備>

- 情報発信体制の確立（ホームページなど）
- ガイドマップの作成，観光ガイドの育成
- 案内標識，休息施設などの整備
- 地区をPRするためのゆるキャラづくり



5 強い絆に支えられた地区づくり

<地区行事の活性化>

- 行事のあり方の検討（町内会から地区単位へ）
- 子どもを中心とした地区行事の検討

<世代間交流の推進>

- 梨和清流太鼓，北方グラウンド・ゴルフ場などを活用した世代間交流の推進

<安全安心な地区づくりの推進>

- 自主防災組織の設立の検討と防災マップづくり
- 災害時の要援護者の支援体制の強化

<生涯学習活動の推進>

- 北方地区郷土史の編纂，地域博物館づくり
- 特技，貴重な体験などを持つ住民をDVDなどで紹介
- 地区学習の推進による地区に対する愛着と誇りの醸成
- 北方コミュニティセンターを核とした生涯学習活動の推進



4 計画の推進体制

北方地区町内会長連絡協議会の活動目標

多彩な人材が役割を担い、誰もが参加する地区活動

計画推進に向けて

① 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

② 北方地区町内会長連絡協議会の体制の強化

<組織体制の強化>

- 北方地区町内会長連絡協議会に計画推進組織の設置
(町内会の役員を中心に地区の各種団体の代表者などで構成)

<段階的な取り組みの推進>

- 推進組織において計画の優先順位付けを行い，段階的な取り組みの推進

<計画推進に向けての連携体制づくり，人材の育成>

- 住民，各種団体，NPO法人，企業などとの連携の強化
- 地区出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用
- 講習会，研修会，先進地視察などの開催による人材の育成



③ 情報の受発信体制の確立

<地区内向けの情報受発信>

- 北方地区たよりの発行
- 二世帯，三世帯の家庭には複数の配布物の配布
- 若者世帯に対するインターネットを活用した情報の受発信

<地区外向けの情報発信>

- 北方地区を紹介するホームページの開設の検討



<問い合わせ先>

北方地区町内会長連絡協議会（北方地区地域計画策定委員会）